

オムニバスタウンのあらまし

オムニバスタウンとは

バスの有する多様（オムニ）な社会的意義（マイカーに比べて、人・まち・環境にやさしい）が発揮されることによって快適な交通、生活の実現を目指すまち

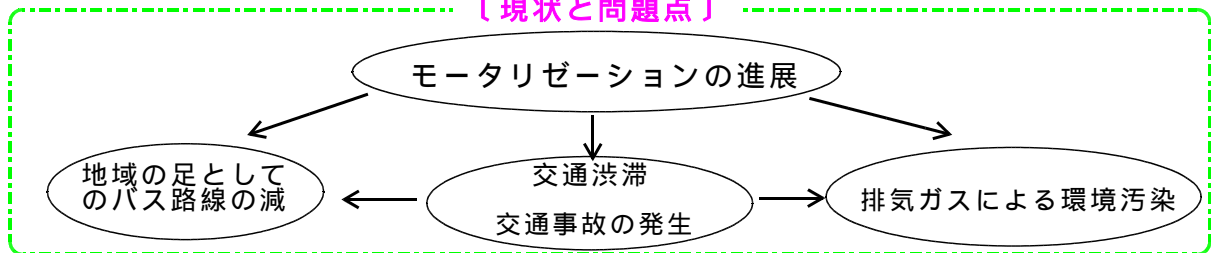
「オムニバス Omnibus」とは、

乗合バスの語源でもともとは「何の御用にでも役立つ」という意味。

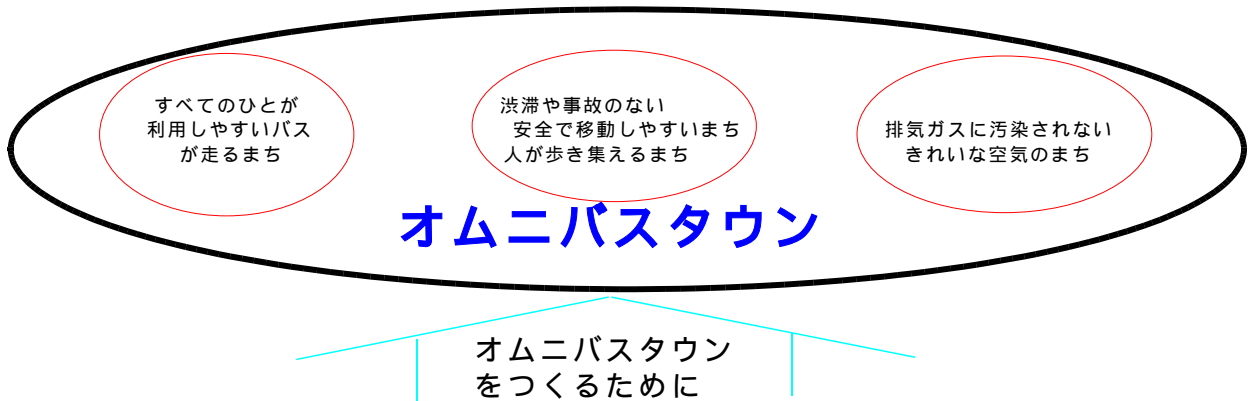
たまたま、フランスの乗合馬車の発着所の雑貨屋の看板に書かれていたことにちなむもの。

現代における、地域の足・まちづくり・環境問題等「多様な社会的課題の解決の御用に役立つ」という意義を込めています。

〔現状と問題点〕



バスの多様な社会的意義発揮による問題解消



〔地域の自主的な取り組み〕

市町村が中心となって関係者の一体的取り組み……オムニバスタウン計画づくり

〔事業例〕

安全性・利便性等の向上

- ・バスロケーションシステム、バス案内システム
- ・人と環境にやさしいバス車両導入
- ・コミュニティバス運行
- ・停留所施設改良

交通施設等の整備・改善

- ・道路拡幅、交差点改良
- ・バスレーンカラー舗装化
- ・バスベイ整備

交通安全に配慮した走行環境の改善

- ・バス専用・優先レーン
- ・バス優先信号
- ・公共車両優先システム
- ・トランジットモール

社会的意義の認識高揚

- ・新聞、テレビ、ラジオによる広報
- ・利用促進を図るためのイベント
- ・アンケート調査

〔関係省庁の連携による支援〕

警察庁・国土交通省の連携によるオムニバスタウン制度・支援